外国語活動	第４学年	江田島市立鹿川小学校	指導者　久保憲治 JET　岩田晃志

単元名

「アルファベットの小文字で文字遊びをしよう」
～Alphabet～（Let's Try! 2 Unit6）

本単元で育成する資質・能力　問題解決力　共感・受容・敬意

日　時　　令和２年１月 22 日（水）　13:55～14:40
学　年　　第４学年　20 名

１　単元について

（１）単元観

○　本単元では，アルファベットの小文字を扱い，以下の新学習指導要領の領域別の目標を受けて設定する単元である。

> （１）聞くこと
> ウ　文字の読み方が発音されるのを聞いた際に，どの文字であるか分かるようにする。
>
> （２）話すこと[やり取り]
> ウ　サポートを受けて，自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

本単元は，３学年で学習したアルファベットの大文字の体験をもとに，身の回りにある看板や表示から文字を探したり，大文字と比較したりすることで，活字体の小文字の読み方に慣れ親しむことができる単元である。また，活字体の小文字を単元として扱うのは第４学年のみであり，外国語科の領域別目標「（２）読むこと　ア　活字体で書かれた文字を識別し，その読み方を発音することができるようにする。」と系統的にかかわりがある。そのため，単元を通して，活字体の小文字を丁寧に扱うことは，高学年の外国語科への接続という点でとても大切になってくる。

（２）児童観

○　「小学校外国語活動実施状況調査」の児童アンケート（10 月実施）の結果を分析すると，本学級の児童は，「もっと英語を学びたい。(100%)」，「外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。(100%)」と肯定的評価が高く，外国語活動の授業に意欲的に取り組んでいることが分かった。また，全ての項目で 90%以上の肯定的評価をしていることから，外国語活動に対してよいイメージを持っている児童が多いことが分かる。

一方，「英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています（90%)」，「英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。（90%)」は，他の項目と比べ，やや消極的な回答が見られた。自分の考えや気持ちを伝えにくかったり，学習した表現を使えなかったりする児童が少なからずいることから，自分の意見を持ちやすいような課題設定や，既習表現を使いたくなるようなコミュニケーションの目的意識や相手意識を具体的に設定し，活動に取り組んでいくことが必要であると考える。

（３）指導観

○　指導に当たっては，以下の２点について留意する。

【１】『外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方』を働かせながら活動に取り組めるようにするために

【外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】 　外国語で表現し伝え合うため，外国語やその背景にある文化を，社会や世界，他者との関わりに着目して捉え，コミュニケーションを行う目的や場面，状況等に応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，再構築すること

本単元では，「単語の発音を知るために，単語の小文字を英語で読んだり伝えたりする」ことをゴールとして設定する。児童が自信をもって発音できる単語は多くなく，興味・関心によって様々である。しかし，単語を構成するアルファベットを読んで相手に伝えることができれば，ALT や読み方を知っている友達が単語の読み方を教えることができる。そのため，単語を構成する活字体を認識できることは，コミュニケーションを深めるだけでなく，新しい音声に出会うためにも重要な役割を果たすことになる。

単元を通して，活字体の小文字の形と読み方を一致させる活動や，第３学年で学習した活字体の大文字と，今回学習する活字体の小文字の形を比較し識別する活動などに取り組む。ローマ字とアルファベットの発音やアルファベットの大文字・小文字の形などを比較ながら，文字の形や読み方に着目することで，言葉の面白さや豊かさにも気付かせるようにする。

単元の後半には，身の回りのものなどについて，既習表現を活用した児童同士のやり取りを踏まえて，文字化した単語を音声化する活動に取り組む。アルファベットの文字が使えるようになることで，「もっとたくさんの英語を読んでみたい」「さらに英語を使って積極的にコミュニケーションを図っていきたい」という思いが高まるような活動を展開していく。

また，学習についての振り返りを毎時間行うことで，児童自身が自己の学習の成果や課題を客観的に捉え，次の学習に生かすことができるようにする。

【２】英語を聞いたり話したりすることへの意欲を高めるために

①　児童にとって身近で，必然性のあるコミュニケーションの場面を設定する。

②　絵や写真，具体物などを提示することで，英語の音声と意味を結び付けることができるようにする。

③　英語を使ったコミュニケーション活動を豊かにするために，「何を」「何のために」「誰に（と）」伝え合うのか，相手意識や目的意識を明確にする。

ただ単に机上での活動に終始するのではなく，身体や指などを使った活動や英語の歌詞を見ながら歌う活動なども展開させ，その中で友達と協働しながら英語を使う楽しさやよさにも気付かせていく。また，コミュニケーションを図る楽しさや，言語や文化への体験的な理解を深めるために，よりよく慣れ親しむことができるゲーム活動やコミュニケーション活動を重視していく。

２　単元構成

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
単元目標	相手に配慮しながら，アルファベットの小文字について伝え合おうとする。	活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 アルファベットについて質問したり，それに答えたりする。	身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。
言語材料 （下線：新出）	**【表現】** Look.　What's this?　Hint, please.　How many letters? ― I have (six). Do you have a ("b")? ― Yes, I do. / No, I don't.　That's right.　Sorry.　Try again. **【語彙】** 小文字　大文字　数（１～60）　身の回りの物など		

単元の特徴や児童の実態を踏まえて

	外国語に関する技能		資質・能力	
	聞くこと	話すこと［やり取り］	問題解決力	共感・受容・敬意
児童の目指すべき姿	アルファベットの小文字が発音されるのを聞いて，どの小文字を表しているか分かる。	身の回りの物を表す英語を構成するアルファベットについて，その数や小文字に着目して，質問したり，その質問に答えたりしている。	何が好きか尋ねたり答えたりするにはどのように伝えればよいのかを思考・判断し，表現することで，課題を解決している。	自分と異なる意見や感じ方があることに気付き，相手の新たな一面を知ろうとしている。

児童の目指すべき姿から考えて

単元のゴール	☆　友達や ALT に，単語を構成するアルファベットを伝えることで，活字体の小文字の読み方に慣れ親しむ。
	【やり取りの例】 S1: Do you have a (d)?　S2: Yes, I do. S1: Do you have a (g)?　S2: Yes, I do. S1: How many (g)?　S2: 1 (g). S1: Do you like (dogs)?　S2: Yes, I do. Do you like (dogs)? S1: No, I don't. I like (cats).　S2: I see. Thank you.

３　単元の計画（全４時間）

時		学習内容（□は使用表現，〇は活動例，【　】は重点化する英語の技能）	評価の観点 コ	評価の観点 慣	評価の観点 言	評価規準	評価方法
情報収集 課題の設定・共有	1	Goal　大文字と小文字を比べよう。 【聞】活字体の小文字の読み方を聞いて，どの小文字を表しているか考えようとする。 〇Let's watch and think　〇文字の並び替え 〇Let's Sing（ABC song）　〇Alphabet Jingle アルファベットの大文字，小文字		〇		●【気】大文字と比較しながら，どの小文字を表しているか考えている。	行動観察 振り返りカード
情報収集	2	Goal　読まれた小文字を見つけよう。 【聞】活字体の小文字の読み方を聞いて，どの小文字を表しているか見つけようとしている。 〇Alphabet Jingle　〇Let's play2（おはじきゲーム ） 〇Let's play 1（アルファベット探し）　〇Let's Listen 〇条件を変えたやり取り（T-S） T1: What alphabet do you like?　S1: I like (an o). T1: Why? Tell us the reason.　S1: 丸くてかわいいからです。			〇	●【慣】読まれた小文字の音声を聞いて，その文字を見つけようとしている。	行動観察 振り返りカード
	3（本時）	Goal　好きなものを表すアルファベットを聞き出そう。 【聞】読まれたアルファベットを聞いて，どの単語を表しているか見つけている。 【話（や）】単語を構成するアルファベットを読んで，友達に伝えようとしている。 〇Alphabet jingle　〇Activity 1　〇やり取り（S-S, T-S） S1: Do you have (a d)?　S2: Yes, I do.　S1: Do you have (a g)? S2: Yes, I do.　S1: Do you like (dogs)?　S2: Yes, I do.		〇		●【慣】単語を構成するアルファベットを読んで伝えようとしている。	行動観察 振り返りカード
まとめ・創造・表現	4	Goal　友達の好きなものを見つけよう。 【話】単語を構成するアルファベットを読んで，友達に伝えようとしている。 〇Alphabet jingle　〇Activity 2　〇インタビュー（S-S） S1: Do you have (a d)?　S2: Yes, I do.　S1: Do you have (a g)? S2: Yes, I do.　S1: How many (g)?　S2: 1 (g). S1: Do you like (dogs)?　S2: Yes, I do. Do you like (dogs)?	〇			●【コ】文字についての質問を通して，何を表しているか理解しようとしている。	行動観察 プリント 振り返りカード

４　本時の展開

（１）本時の目標

〇自分の好きなものを伝えるために．単語を構成するアルファベットを読もうとする。

（２）本時の評価規準【外国語への慣れ親しみ】

〇単語を構成するアルファベットを読んで伝えようとしている。

（３）学習の流れ

過程	学習サイクル	児童の学習活動	指導者の活動		・指導上の留意点 〇具体の評価規準 （評価方法）
			T1	T2（JTE）	
導入（Introduction）	ステップ１（考えをもつ）	1　Greeting 挨拶をして学習の雰囲気作りをする。	Good afternoon!	Good afternoon! How are you?	
		Alphabet Chant に取り組む。 好きな動物についての簡単なやり取りを聞く。	Let's chant. 岩田先生，what animal do you like?	*児童と共に，音声に合わせて発音する。 I like alligators.	・単元を通して歌やチャンツ等に取り組むことで，文字のもつ読み方と音に慣れ親しませるようにする。
		2　Today's goal 本時のめあてを確認する。	Check today's goal.		
		好きなものを表すアルファベットを聞き出そう。			
		3　Activity① Activity 1 に取り組む。	岩田先生はどの動物が好きなのかな。ヒントを聞いて考えよう。 久保先生はどの動物が好きかな。聞き出してみよう。	*文字についてのヒントを与える。 *例として一門 T1 に質問し，児童にどのような質問をしたら良いか見通しを持たせる。	・活動の目的を示すことで，既習表現を思い出しやすくする。 ・教師同士 → 教師と児童 → 児童同士と，段階を踏んで手順を確認できるようにする。
		SS: Do you have an (e)?　ALT: Yes, I do. SS: Do you have a (s)?　ALT: No, I don't. SS: (tiger)?　ALT: That's right!			

<table>
<tr><td rowspan="2">展開（development）</td><td rowspan="2">ステップ２（伝える）→ステップ３（考えを深める）</td><td>4　Activity②
文字についての質問をし，友達の好きな動物を探す活動をする。</td><td>友達の好きな動物を，質問をして当てよう。</td><td>*困っている児童の支援をする。</td><td rowspan="2">・児童の興味関心に合った題材（動物等）を選び，主体的に活動できるようにする。
・既習表現を掲示したり，アルファベットカードを用意したりし，友達同士で協働的に取り組めるようにする。

○【慣】単語を構成するアルファベットを読んで伝えようとしている。
（行動観察・ペアトーク・振り返りカード）</td></tr>
<tr><td colspan="3">S1: Do you have a (b)?　S2: Yes, I do.
S1: Do you have an (i)?　S2: No, I don’t.
S1: Do you have an (e)?　S2: Yes, I do.
S1: Do you like a (bear)?　S2: Yes, I do.</td></tr>
<tr><td rowspan="3">まとめ（summary）</td><td rowspan="3">振り返り</td><td>全員でやり取りの内容を共有し，単語の発音を確認する。</td><td>○○さん，What animal do you like?</td><td>*文字カードから児童が発音したアルファベットを選び，順番通りに並べる。
*発音が難しい単語を発音する。</td></tr>
<tr><td>5　Reflection
本時の学習について，活動面と言語面での振り返りをする。</td><td>Write　your reflection card.</td><td></td><td>・振り返ることで，学習成果を客観的に捉えさせ，意欲の向上に繋げる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">振り返りの視点
・できるようになったこと　・分かったこと　・難しかったこと　・やってみたいこと
など，**言語面**と**活動面**での振り返りをする。
児童の振り返りの例
○言語面（知識・理解について）
・b と v の発音の違いがわかった。　・△△の英語の言い方が分かった。
○活動面（思考力・判断力・表現力等について）
・○○さんは□□が好きだと分かった。　・アルファベットを伝えることができた。</td></tr>
<tr><td></td><td>6　Greeting
挨拶をして学習を終える。</td><td>That’s all for today.
Thank you!
See you!</td><td>Thank you!
See you!</td><td></td></tr>
</table>

（４）　板書計画

Big Smile
Eye Contact
Clear Voice

Greeting
Today's Goal
Activity 1
Activity 2
Reflection
Greeting

Today's Goal

1/22 好きなものを表すアルファベットを聞き出そう。

アルファベットの小文字カード

動物の絵カード（10 種類）